



ももくさ

令和7年2月10日

校長 しんみょう 新名 孝

6年生を送る会「2/21(金)」に向けて

6年生の登校日数が30日を切りました。その6年生に向けて、5年生は送る会の企画・運営、その他の学年は出し物の練習に取り組んでいます。

1年生は初めての送る会、セリフや動作を確認しながら、劇の練習をしています。

2年生、とっても元気な歌声が音楽室から響いてきます。

3年生、グループになって練習しています。「～なんやと」といった方言が聞こえてきます。

4年生は、感謝の言葉と歌を届けるようです。

5年生にとっては、学校のリーダーとして活躍する最初のお機会となります。思い切ってチャレンジしてほしいと思っています。

6年生が在校生に向けて、どんな姿・メッセージを残し、魅せようとしているのか楽しみです。

つながる矢田野っ子の「感謝・挑戦・進化」

1月8日の始業式で、当たり前の日常に「感謝」、自分を伸ばす「挑戦」、自分を変える「進化」による一人一人の成長を期待しているといった話をさせていただきました。

日々の学校生活、その他の場面からも児童の「感謝・挑戦・進化」しようとする姿が見られ、うれしく思っています。その一部を以下に紹介します。

2月1日(土) マーチングバンドさよならコンサート

下級生から6年生に向けて感謝の気持ちをこめた言葉が贈られていました。また、これまで支えてくれた保護者、指導して下さった山田先生にもしっかりと感謝の気持ちが伝えられていました。明峰高校との合同演奏に挑戦する場面もあり、ステキなコンサートでした。

2月2日(日) イングリッシュレシテーションコンテスト

5年生の高橋さん、6年生のハヤシさんと森さんが英語の暗唱に挑戦しました。残念ながら森さんは体調不良で当日のコンテストには出場できませんでしたが、高橋さん、ハヤシさんが小松駅前の「うらら」の大ステージで、たくさんの観客を前に練習の成果を堂々と発表していました。

挑戦する児童の姿が日々の授業の中でも見られ、表情や言動に進化が感じられます。一人一人のよさを見逃さず、学校全体の進化につなげていきたいと思っています。ご支援よろしく願います。

2月5日・6日は大雪のための臨時休校に際し、ご理解ご協力ありがとうございました。特に悪天候の中、学校の敷地内、駐車場、歩道等の雪かき、感謝に堪えません。地域の皆様のおかげで職員は無事勤務し、7日に児童を迎える準備をすることができました。本当にありがとうございました。今後ともご協力の程、よろしくお願いいたします。